

I. 要約

統計解析や機械学習を用いてデータを活用するビジネスの支援をしています。

現在、英国ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスの大学院に在籍しており、2020年9月にデータサイエンスの修士号を取得見込みです。国際的な環境での業務の経験が多くあります。

II. 職務経歴

- 1) データサイエンティスト (個人事業主) 2019-5月~現在
- 2) データサイエンティスト (正社員) QUOINE Corporation 2018-4月~2019年3月
 - 業務内容
 - a) 大規模なデータベースの抽出・加工およびデータウェアハウス等への送信など
 - b) 推薦システムの研究開発
 - c) 金融取引・マーケティング・経営戦略に関するデータ分析

III. 学歴

- 1) ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス (LSE) 統計学科 データサイエンス修士 2019年9月~2020年9月
 - LSEは世界有数の社会科学の研究機関であり、2020年QS世界大学ランキングでは世界2位に選ばれました。また社会科学の根幹として行われた統計学の研究の歴史は100年以上前にも遡ります。
- 2) 東京工業大学 工学部 学士 2014年4月~2018年3月
 - 社会の諸問題を数理的に解決する分野である社会工学を専攻しました。
 - 副総合代表として卒業しました。
- 3) スウェーデン王立工科大学 (KTH) 数学科 協定派遣交換留学 2016年9月~2017年3月
 - KTHは欧州を代表する工科大学です。
 - 確率論・数理統計学・経済学等を履修しました。

IV. プログラミング言語等

- 1) 主として使用: Python, R, SQL, Shell
- 2) 補助的に使用: C, Matlab, HTML, JavaScript, CSS, PHP
- 3) 英語: IELTS 7.0/9.0, TOEIC 925/990, TOEFL iBT 99/120 (英検一級程度)

V. 受賞・資格

- 1) Graduate Statistician 英国 王立統計学会 2020年9月取得予定
- 2) 学部最優秀論文 東京工業大学 工学部 社会工学科 2018年3月 受賞
- 3) グローバル理工人コース修了 東京工業大学 2018年3月 受賞

VI. 進行中のプロジェクト

- 1) トピックモデリング
 - Facebookに掲載されるニュース記事を活用したサービスの考案と研究及び実装を目的としたプロジェクトを行なっています。
 - Facebook 英国本社 と London School of Economics (LSE) の共同プロジェクト

VII. 過去のプロジェクトの例

2) 時系列データの異常値検知プログラム

- 金融や工学の分野では時系列的に流れるデータから異常値を検出するプログラムに関する機械学習の手法を研究し実装しました。
- London School of Economics (LSE) でのプロジェクト

3) コロナウィルスのリスク地域分析

- コロナウィルスの危険地帯を可視化する手法を研究および実装し、イギリスの感染者数のデータを利用してリスクのある地域と時系列的な推移を分析しました。
- London School of Economics (LSE) でのプロジェクト

4) マイクロアレイのデータに対する機械学習の手法の研究・開発

- 大量の対象物に対して一度に実験を行うための技術をマイクロアレイと呼ばれます。
- 本プロジェクトでは、これらの手法から得られた数千もの遺伝子のデータから深層学習を用いてパターンを検出する手法を提案しました。
- London School of Economics (LSE) でのプロジェクト

5) 交通時間所用マップアプリの作成

- 東京都内の町から勤務地への勤務時間を計算するアルゴリズムを用い、結果を可視化するwebアプリの設計と実装を行いました。
- 国土交通省主催のオープンプロジェクト

6) ネットワーク分析手法の検証

- ネットワークを予測する最新の手法の性能の検証や比較を行う研究を行いました。
- London School of Economics (LSE) でのプロジェクト

7) 脳波と視線データ解析

- 脳波や視線の動きといったデータの解析やサービスの提案・実装を行いました。
- 国内大手広告会社 でのプロジェクト

8) テキストの極性判定プロジェクト

- テキストの内容から文章の極性を予測するソフトウェアの検証及び大幅な改善に貢献しました。
- 国内ITベンチャー企業 でのプロジェクト

9) 国内の賃金構造の分析

- 国内の賃金構造の理解は性別や職業形態による格差の是正につながります。本研究では既存の手法より正確で、直感的に賃金構造をモデルできる手法を提案し、その実用性を示しました。
- 東京工業大学での研究

10) 車両保険のリスク分析

- 顧客情報から顧客の車両事故に関するリスクを分析し、適切な保険料金を設定するプロジェクトを行いました。
- 王立工科大学(KTH) 及び スウェーデンの大手保険会社でのプロジェクト